

工 事 番 号							
設計年度	令和 7 年度		急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区） 三原市 深町 <div>仕 様 書</div>				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 施工延長 L=40.0m 支柱組立設置工 N=6箇所 山側控えロープ工 N=18本 傾角拘束ロープ工 N=2本 垂直ロープ工 N=4本 ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ工 N=8本 リングネット工 A=150m2							

特 記 仕 様 書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市深町 急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版**
 - ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	資材運搬
時期	全工事期間
時間	9:00～15:00（作業可能時間）
施工方法・理由	工事箇所が通学路に近接するため、関係機関と調整を十分に行い、登下校時間は資材の搬出入を極力行わないこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

- 1 騒音防止
管理内容 小学校が隣接するため、事前に調整を行い、騒音等については十分に配慮すること。
時期 全工事期間

第4節 安全対策

- 1 交通誘導員
作業期間中の交通誘導員は、資材の搬入・搬出時において4人見込んでいる。
- 2 交通安全施設
受注者は作業時間中、児童等への安全管理を徹底するものとする。
夜間及び休日において、工事区域に保安灯やバリケードの設置を行う等、近隣住民や通学児童への安全対策に努めること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節

工事用道路

- 1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処理 随時清掃を行うこと。また、工事完了後は舗装欠損部の補修を行うこと。（工事前、後の写真により監督員と協議すること。）

第7節

その他

- 1 工事用機資材等の仮置き場所
受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は設計で現場管理費に見込んでいる。
- 3 法定外の労災保険 の付保
 - 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
 - 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

- 4 関係機関・自治体との近接協議
内容 工事内容や施工時期について、事前に深小学校及び深放課後児童クラブと協議を行うこと。
- 5 新技術・新工法・特許工法の指定
内容 ネット系待受工について、次のとおり施工すること。
斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受工として、建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、（財）砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和6年8月 広島版）『1-1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
斜面对策		式		1	レベル1
法面工		式		1	レベル2
支柱組立設置工		式		1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式		1	レベル4
本体組立工		式		1	レベル4
材料費		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
足場工		式		1	レベル3
足場	安全ネット無し	式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		4	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					

工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

図面番号	3/5	縮尺	S=1:100
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	横 断 図	番 号	1/3
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

NO. 1

横 断 図 (1/3)

DL=90.000

L=10.1
ネット系待受工 (2)
土工

NO. 1
GH=98.920
FH=
D=10.000

土工同断
ネット系待受工 (1)
L=3.8
土工

ネット系待受工 (2)
h=5.0m

ネット系待受工 (1)
h=5.0m

捕捉容量
A=17.8m²

捕捉容量
A=19.7m²

C (SE)=0.5
C (SR)=0.0

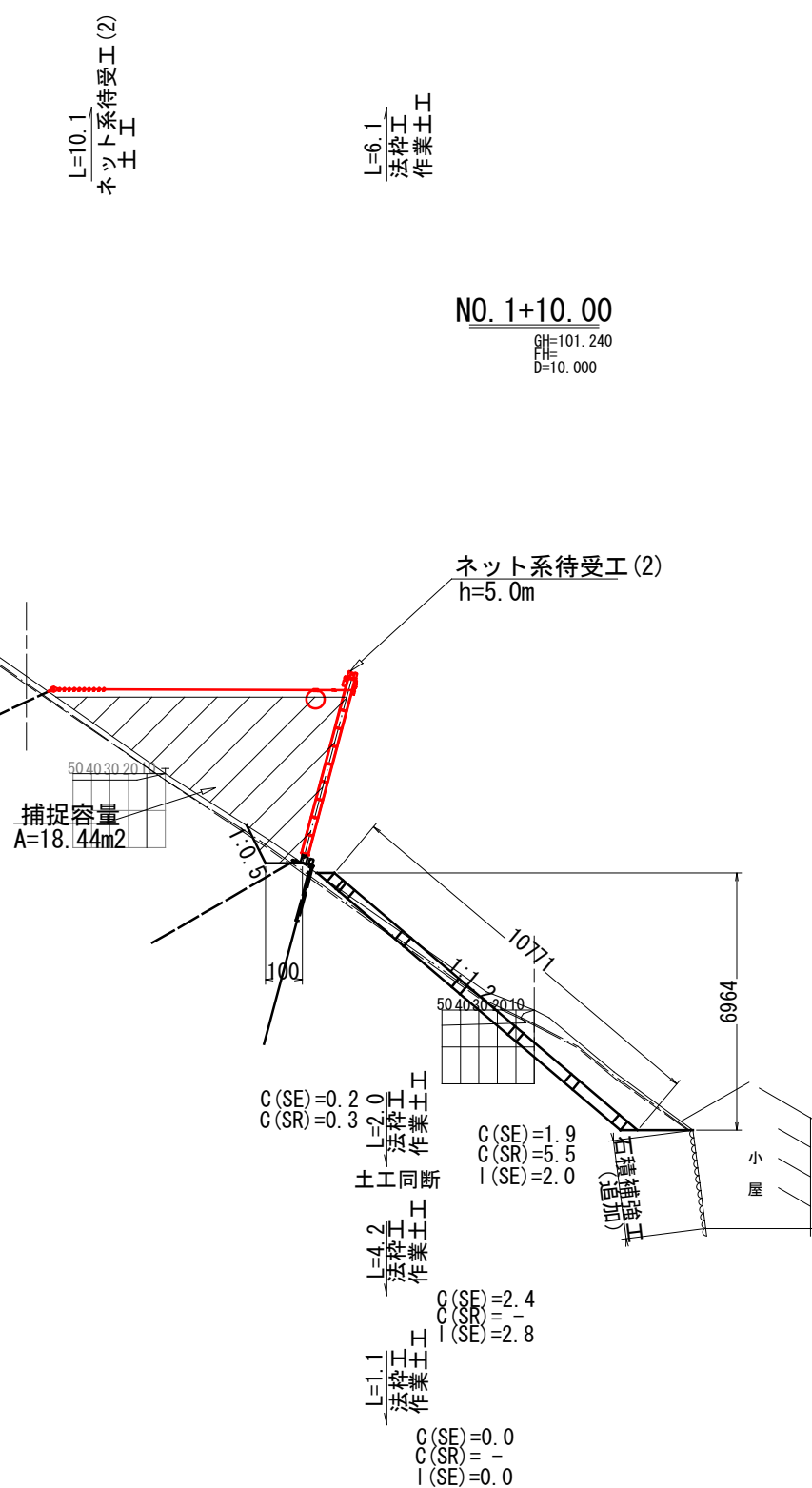
C (SE)=0.3
C (SR)=0.1

L=0.6
ネット系待受工 (2)
土工同断

図面番号	4/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	横断図	番号	2/3
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 1+10.00

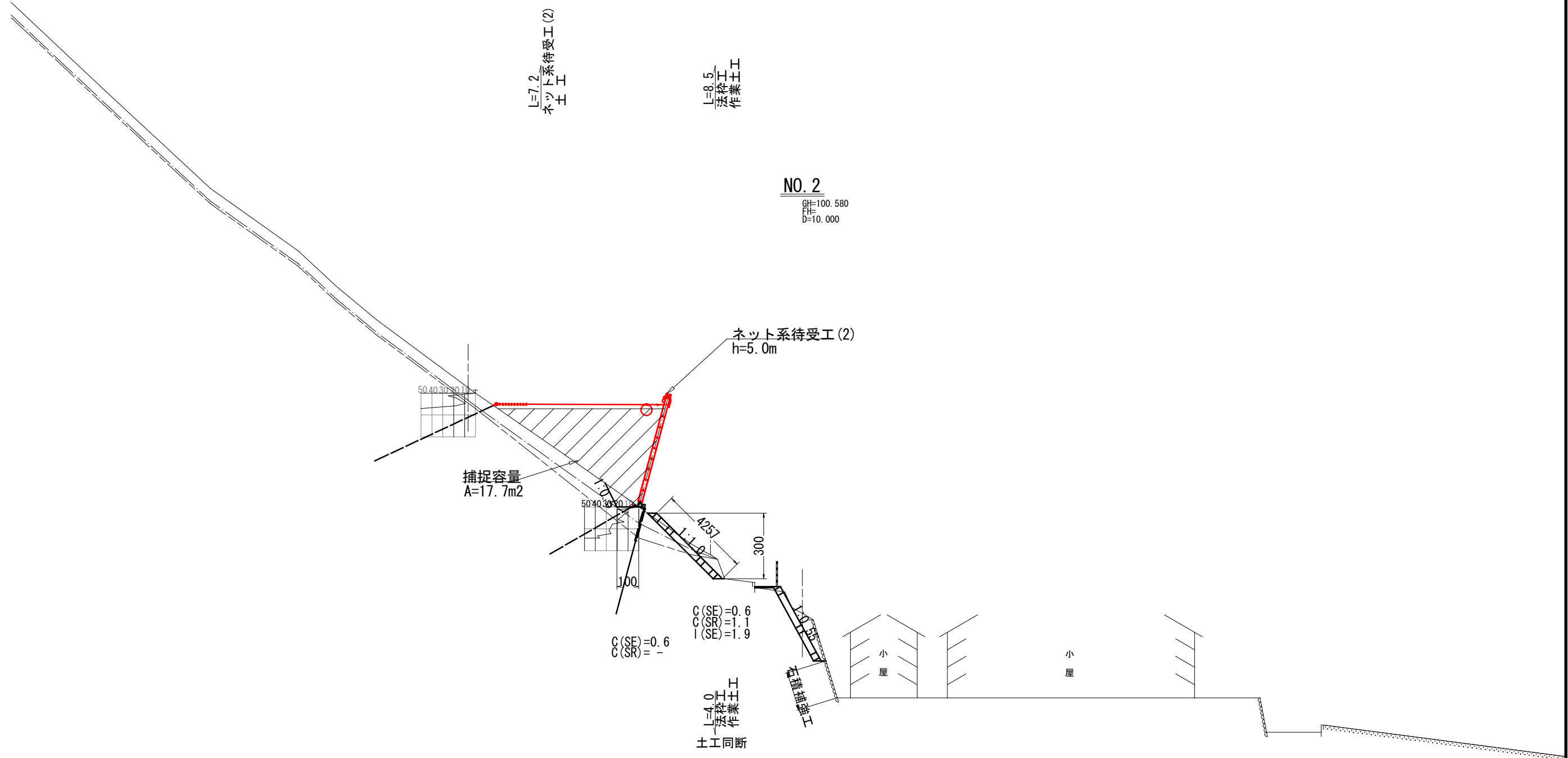
横断図 (2/3)



横断図 (3/3)

図面番号	5/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種別	横断図	番号	3/3
路線 河川名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 2



DL=90.000

参 考 資 料

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.05.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2
支柱組立設置工	1	式			Y1D030301 レベル3
資機材搬入・搬出工	1	式			Y1D03030101 レベル4
資機材搬入・搬出工	1	式			V000000100 00
	1	式			単第0 -0001 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1	日			KR006001 00
本体組立工	1	式			Y1D03030103 レベル4
支柱組立設置工 柵高=5.0m	6	箇所			V000000200 00
					単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
山側控えロープ工					V000000300 00
	18	本			単第0 -0003 表
傾角拘束ロープ工					V000000700 00
	2	本			単第0 -0004 表
垂直ロープ工					V000000800 00
	4	本			単第0 -0005 表
ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ					V000000900 00
	8	本			単第0 -0006 表
リングネット工					V000000500 00
	150	m2			単第0 -0007 表
材料費					Y1D03030104 レベル4
	1	式			
材料費					V000000400 00
	1	式			単第0 -0008 表
仮設工					Y1D0310 レベル2
	1	式			
足場工					Y1A041201 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 安全ネット無し					Y1A01070904レベル4
	460	空m3			
足場工					V000000600 00
	460	空m3			単第0 -0009 表
交通管理工					Y1D031021 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1D03102101 レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

資機材搬入・搬出工

V000000100

單第0 -0001 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

支柱組立設置工

V000000200

單第0 -0002 表

10

箇所 当り

柵高=5.0m

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

山側控えロープ工

V000000300

單第0 -0003 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

傾角拘束ロープ工

V000000700

單第0 -0004 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

垂直ロープ工

V000000800

單第0 -0005 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ

V000000900

單第0 -0006 表

10

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

リングネット工

V000000500

單第0 -0007 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

材料費

V000000400

単第0 -0008 表

頁0 -0014

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱アッセンブリー H=5.0m(H-200)	6	組			
リングネット ROCC019/3/300	150	m2			
ワイヤメッシュ 2.4×50	11	ロール			
ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm	2,000	個			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	4	本			
ラテラルロープ 18mm×L=8.5m 一端500mmループ加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=11.0m 一端500mmループ加工	1	本			
リテイニングロープ 22mm×L=9.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8002 1個付属	6	本			
リテイニングロープ 20mm×L=11.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8002 1個付属	2	本			
リテイニングロープ 22mm×L=10.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8002 1個付属	9	本			
バーチカルロープ G22mm×L=11.5m 両端シンプル加工	4	本			
ダウンスロープリテイニングロープ 12mm×L=7.0m 一端500mmループ加工	1	本			

施工単価表

頁0 -0015

材料費

V000000400

單第0 -0008 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

足場工

V000000600

單第0 -0009 表

100

空m3 当り

[illegible]

数 量 総 括 表

－急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）－

本工事(付帯工事)費内訳表

工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計上数量	摘 要
本工事費								
	法 面 工							
		資機材搬入・搬出工						
			資機材搬入搬出		式	1.0	1.0	
			ラフテレーンクレーン	25t	日	1.0	1.0	
		本体組立工						
			支柱組立設置工	柵高H=5.0m	箇所	6.0	6.0	
			山側控えロープエ		本	18.0	18.0	
			傾角拘束ロープ		本	2.0	2.0	
			垂直ロープエ		本	4.0	4.0	
			ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ		本	8.0	8.0	
			リングネット工		m2	150.0	150.0	
			材料費		式	1.0	1.0	
	仮 設 工							
		足場工						
			単管足場		空m3	460.0	460.0	
		交通管理工						
			交通誘導警備員		人	4.0	4.0	

参 考 図

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

図面番号	1 / 8	縮尺	S=1:100
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	標準断面図	番号	／
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

標準断面図

床掘り余裕幅
プレキャスト製品等の場合

掘削面の高さ	余 裕 幅
1m未満	構造物端から30cmとすることができる。

埋 戻 し

埋戻し種別	埋戻し幅	埋戻し種別	埋戻し幅
A	W2 ≧ 4m	C	1m ≦ W1 ≦ 4m, W2 < 1m
B	W1 ≧ 4m, W2 < 1m	D	W1 ≦ 1m, W2 < 1m

W1：最大埋戻し幅
W2：最小埋戻し幅

NO. 3

GH=96.580
FH
D=10.000

凡 例

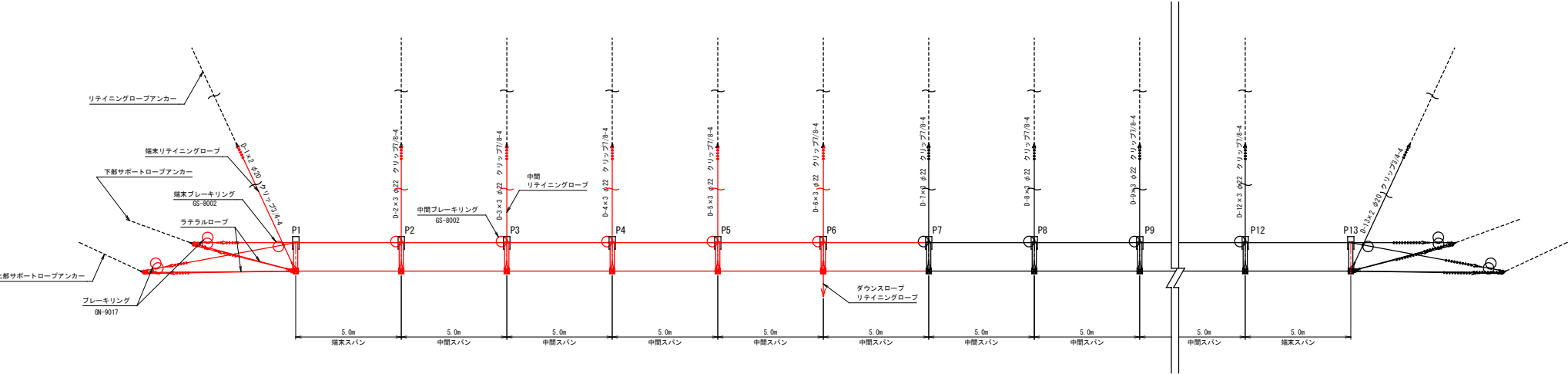
- C(SE) 掘削（土砂）
- C(SR) 掘削（軟岩）
- E(SE) 床掘（土砂）
- E(SR) 床掘（軟岩）
- Fu(D) 埋戻(D)
- SL 吹付法枠法長
- I (SE) 切土法面整形（土砂）
- K (SE) 基面整正（土砂）

DL=90.000

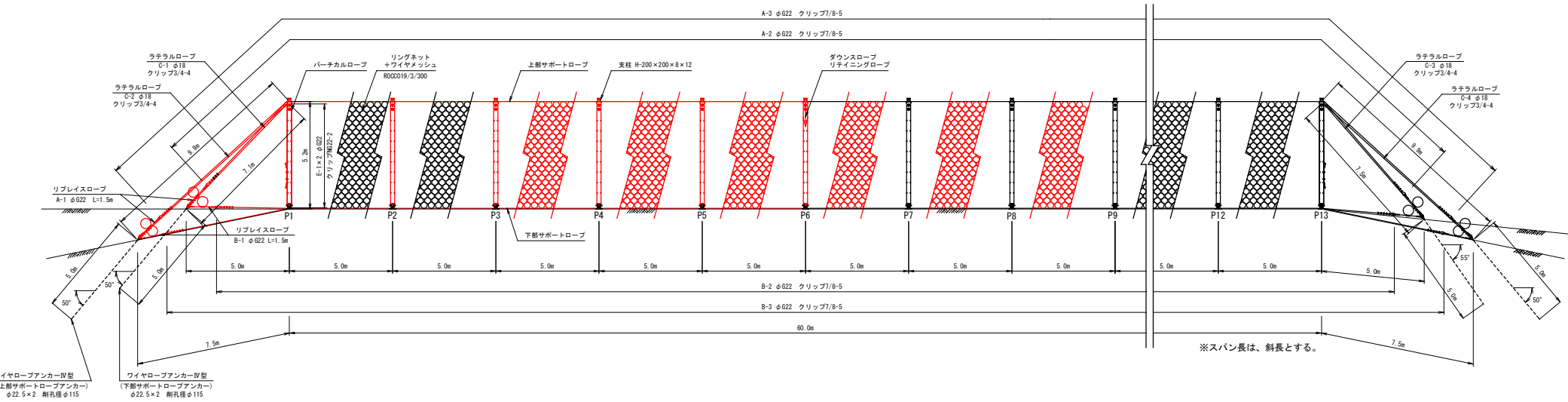
図面番号	2 / 8		縮尺	S=1:100	
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）				
種 別	ネット系待受工(2)		構造図	巻 部	1 / 2
路線 河川 名	深小学校上地区				
工事箇所	三原市深町				
三 原 市					

ネット系待受工(2) 構造図(1/2)
延長60m

平 面 図 S=1/100



展 開 図 S=1/100

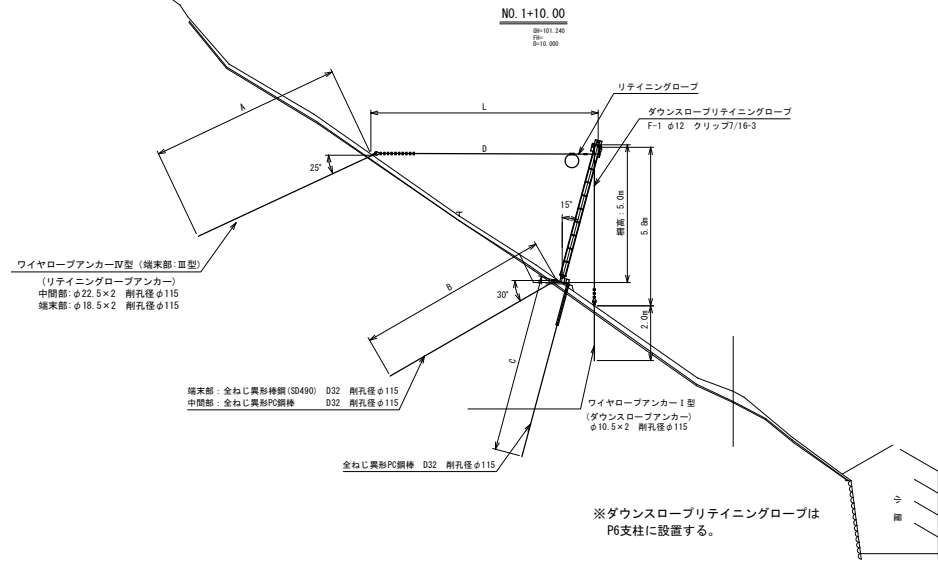


図面番号	3 / 8	縮尺	S=1:100
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2) 構造図	増設	2 / 2
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

インパクトバリア 構造図(2)

②柵 延長60m

断 面 図 S=1/100

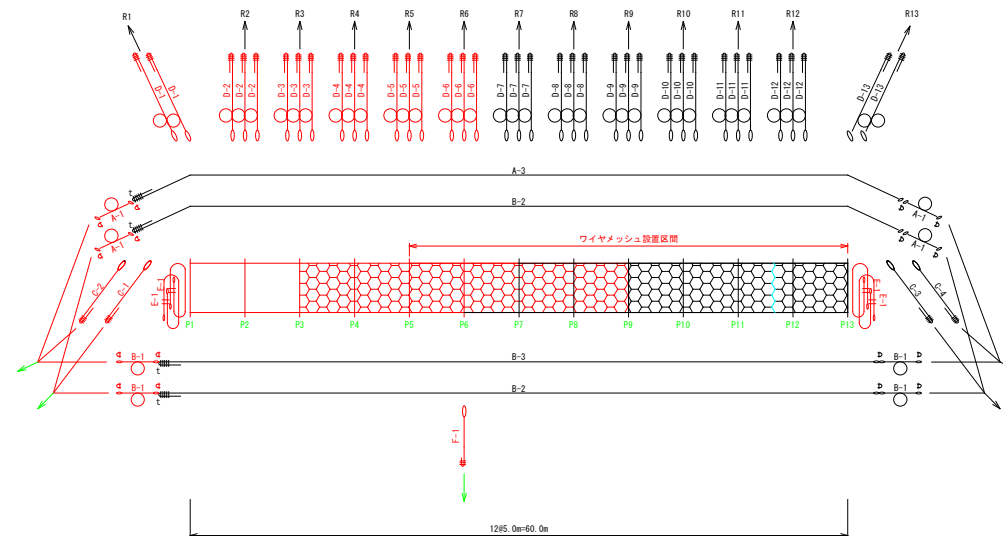


区 分	リテイニングロープ長 L
D-1	9.8m
D-2	8.1m
D-3	8.6m
D-4	7.9m
D-5	8.6m
D-6	8.7m
D-7	8.1m
D-8	7.7m
D-9	7.4m
D-10	7.4m
D-11	8.2m
D-12	8.2m
D-13	8.8m

区 分	リテイニングロープアンカー A
R1	4.0m
R2~R4	5.0m
R5	5.0m
R6, R7	6.0m
R8	5.0m
R9~R12	5.0m
R13	4.0m

区 分	支柱基礎反力体	
	B (山側)	C (谷側)
P1	3.0m	5.0m
P2, P3	4.5m	4.0m
P4	4.5m	4.0m
P5	5.0m	4.0m
P6~P12	4.5m	4.0m
P13	3.0m	5.0m

ワイヤロープ設置図 S=NTS



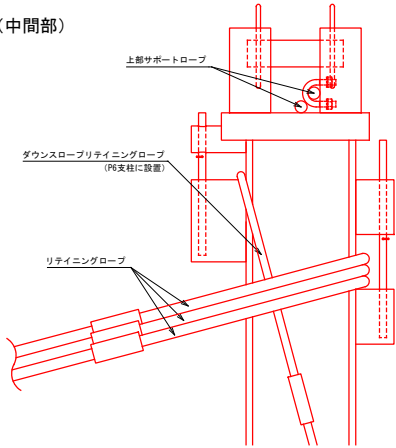
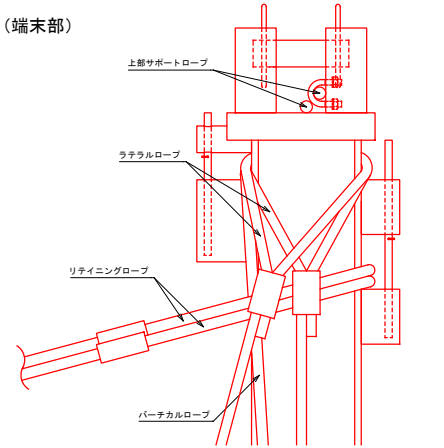
- ※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、施工時には各ワイヤロープ長を変更する必要がある。
- ※2) □ はシャックル止めを示す。
- ※3) t はシンプル使用。

- A: 上部サポートロープ
B: 下部サポートロープ
C: ラテラルロープ
D: リテイニングロープ
E: パーチカルロープ
F: ダウンスロープリテイニングロープ

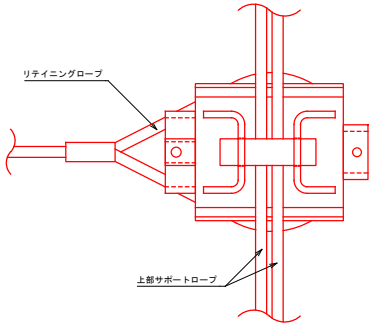
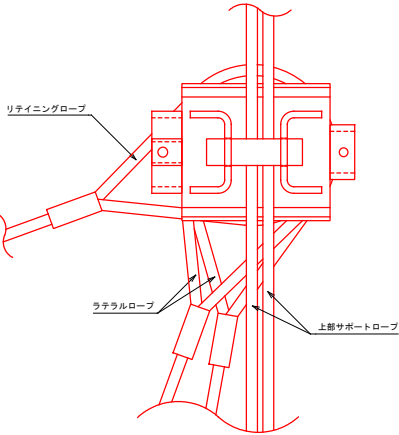
図面番号	4 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	1 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

ネット系待受工(2) 詳細図(1/5)

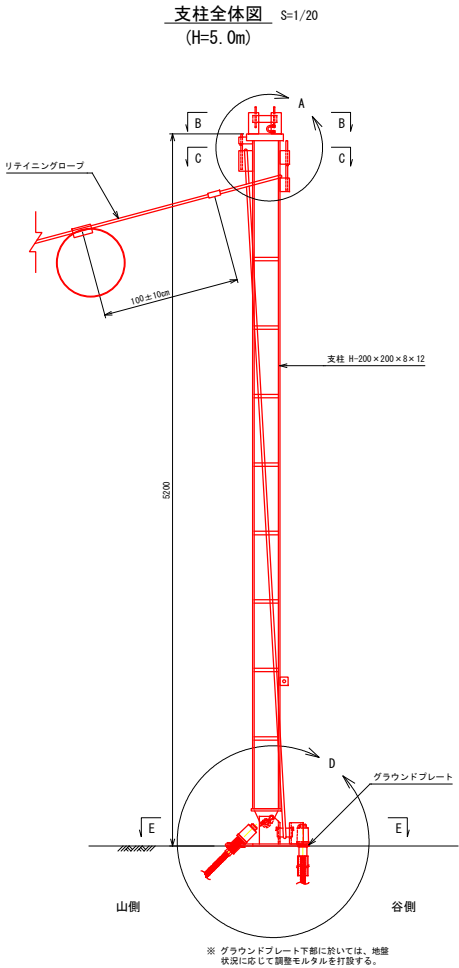
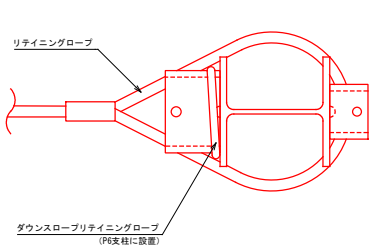
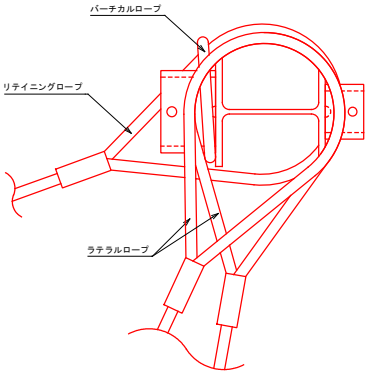
A部詳細図 S=1/5



B-B平面図 S=1/5



C-C平面図 S=1/5

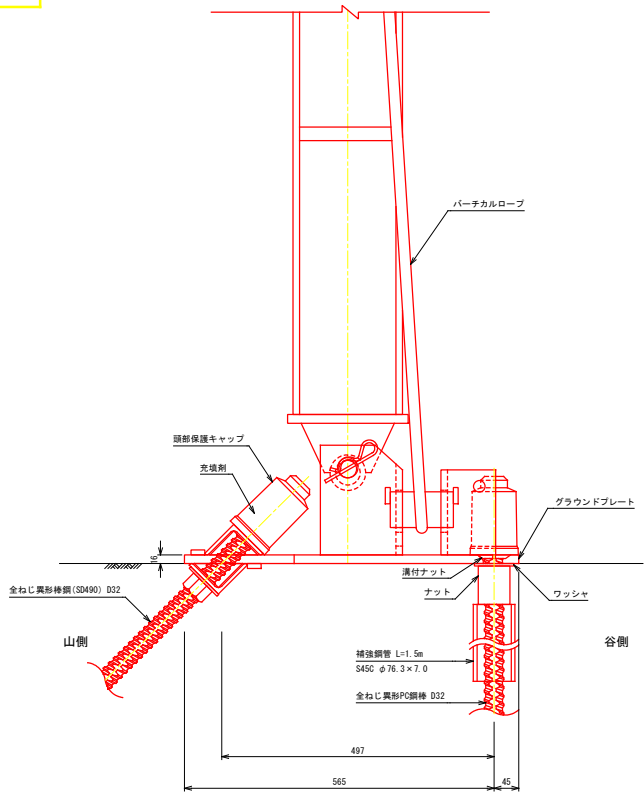


図面番号	5 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	2 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

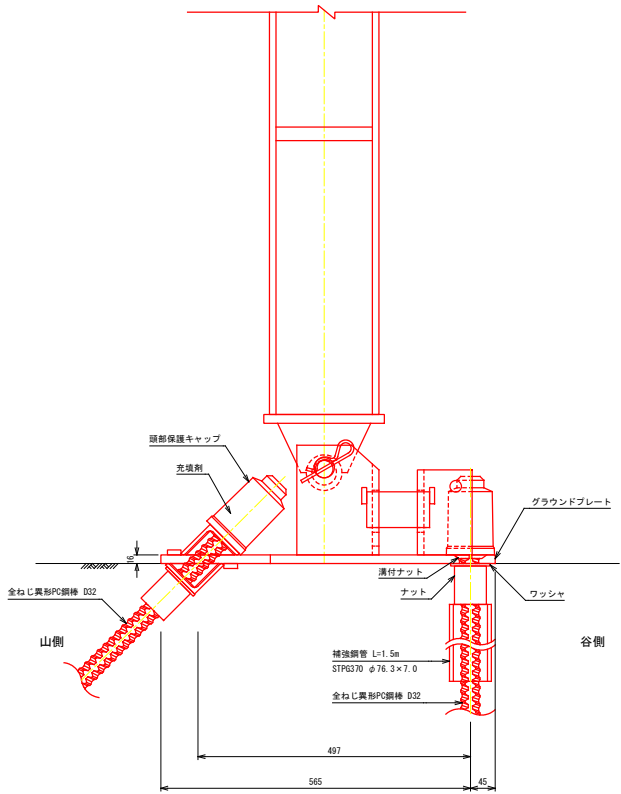
ネット系待受工(2) 詳細図(2/5)

D部詳細図 S=1/5

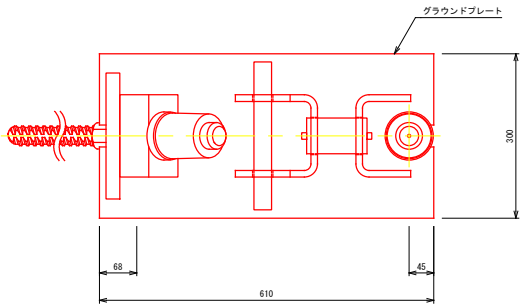
(端末部)



(中間部)

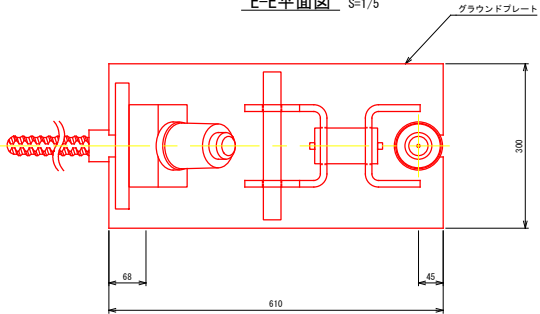


(端末部)



E-E平面図 S=1/5

(中間部)

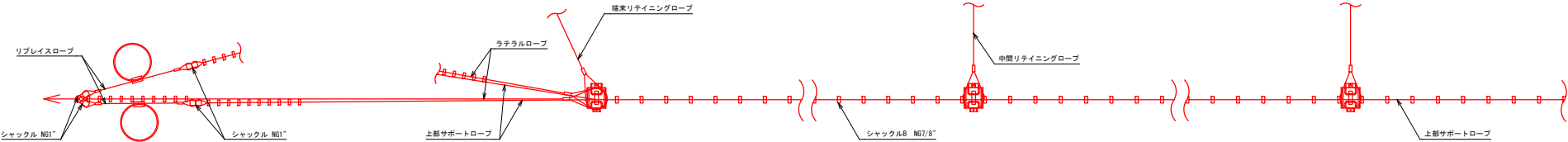


図面番号	6 / 8		縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）			
種 別	ネット系待受工(2)詳細図		番 号	3 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区			
工事箇所	三原市深町			
三 原 市				

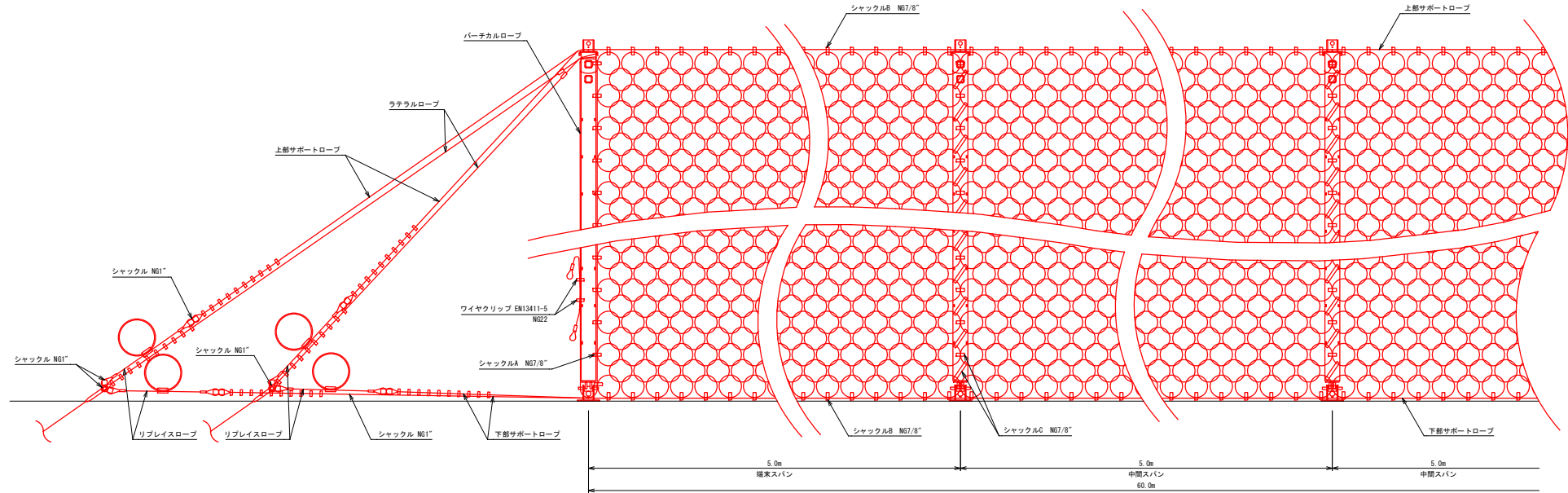
ネット系待受工(2) 詳細図(3/5)

リングネット取付詳細図 S=1/30

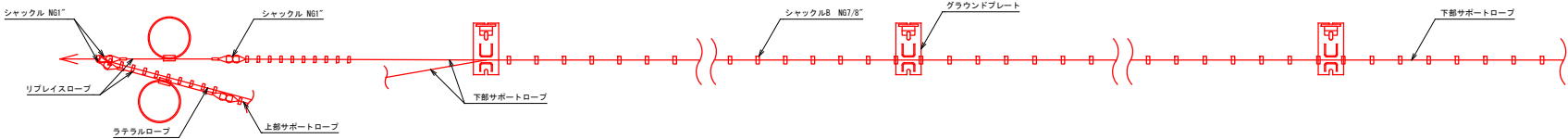
平面図
(上部)



展開図



平面図
(下部)



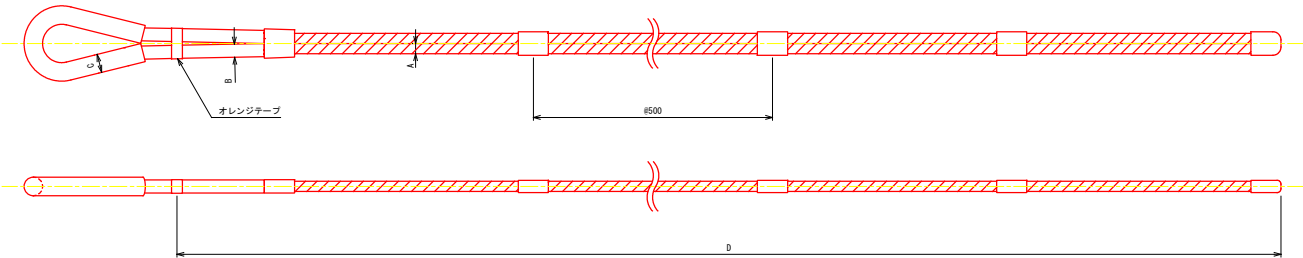
シャックル取り付け個数 (ネット1枚当たり)			
リングネット	シャックル個数(ヶ)		
パネルサイズ (m×m)	A	B	C
縦5.0×横5.0	12	30	23

※ A：パーチカルロープ連結用
B：サポートロープ連結用
C：リングネット連結用

図面番号	7/8		縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）			
種 別	ネット系待受工(2)詳細図		番 号	4/5
路線 河川 名	深小学校上地区			
工事箇所	三原市深町			
三 原 市				

ネット系待受工(2) 詳細図(4/5)

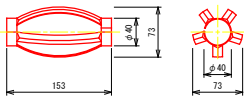
ワイヤロープアンカー



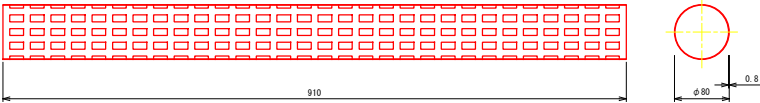
アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
下部サポートロープアンカー	P1, P13	22.5	32	42.4	6.5
ダウンスロープアンカー	P6	10.5	14	21.3	2.0

アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
端末部リテニングロープアンカー	R1, R13	18.5	25	33.7	4.5
	R2~R5				6.5
中間部リテニングロープアンカー	R6, R7	22.5	32	42.4	7.5
	R8~R12				6.5

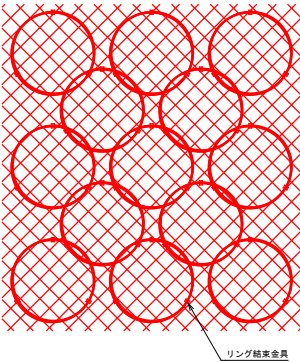
スペーサー S=1/4



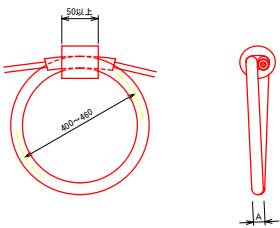
孔壁保護管 S=1/4



リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



ブレーキリング S=1/10



ブレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8002	φ20~22	42.7
GN-9017	φ622	42.4

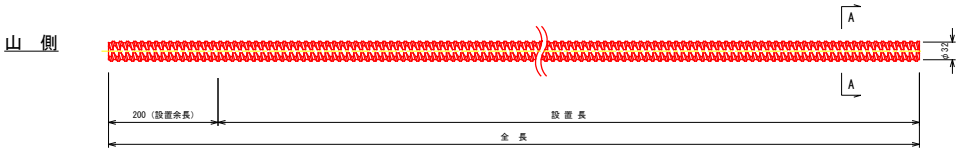
ネット形式	ROCCO 19/3/300
-------	----------------

ワイヤメッシュφ2.4×50
ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm（接続箇所数：8ヶ所/㎡）
凡例 ネット形式
ROCCO 19 / 3 / 300
径
線径
巻数

図面番号	8 / 8	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）		
種 別	ネット系待受工(2)詳細図	番 号	5 / 5
路線 河川 名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三 原 市			

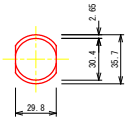
ネット系待受工(2) 詳細図(5/5)

全ねじ異形棒鋼（SD490） S=1/5

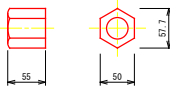


区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
端末支柱部	P1,P13	0.2	4.0	4.2

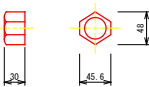
A-A断面図 S=1/2



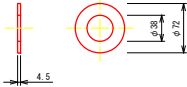
ナット（上部） S=1/4
（亜鉛めっき品）



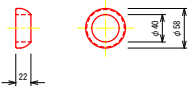
ナット（下部） S=1/4
（亜鉛めっき品）



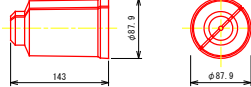
ワッシャー S=1/4



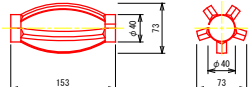
球面ワッシャー S=1/4
（亜鉛めっき品）
谷 側



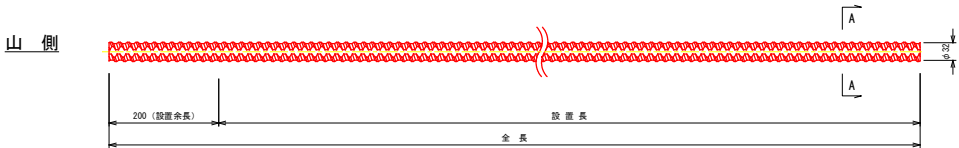
頭部保護キャップ S=1/4



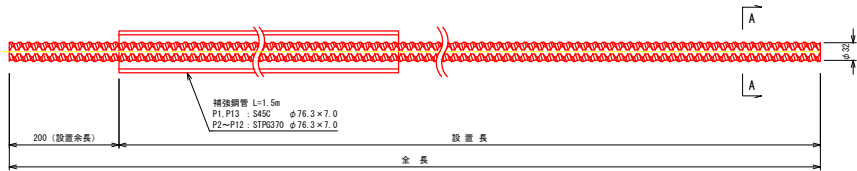
スペーサー S=1/4



全ねじ異形PC鋼棒 S=1/5



谷 側

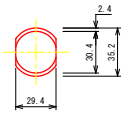


区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
中間支柱部	P2～P4	0.2	7.0	7.2
	P5	0.2	7.5	7.7
	P6～P12	0.2	7.0	7.2

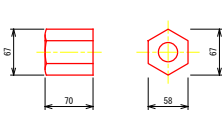
区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
端末支柱部	P1, P13	0.2	7.5	7.7

区 分		設置余長 (m)	設 置 長 (m)	全 長 (m)
中間支柱部	P2～P12	0.2	5.5	5.7

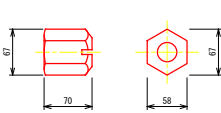
A-A断面図 S=1/2



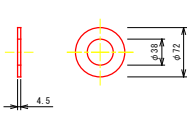
ナット S=1/4



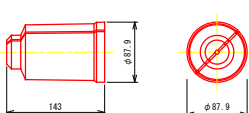
溝付きナット S=1/4



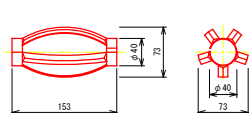
ワッシャー S=1/4



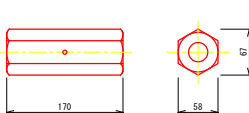
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



カブラー S=1/4



位置図

(34. 431259, 133. 135386)

急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）

